

令和6年度第1学期終業式（西条高校）

皆さん。おはようございます。

今日で第1学期が終わります。皆さんの中には、充実した1学期だったという人がいる一方で、1学期の過ごし方に何らかの後悔が残る人もいることでしょう。でも、安心してください。大丈夫です。どんな人にも平等に夏休みはやってきます。そして、ここから頑張れば、いくらでも挽回できるのです。

さて、今日はそんな皆さんに、夏休みに心掛けてほしい2つの「大事」についてお話したいと思います。

まず一つ目は、「いのちだいじに」です。これは「ドラゴンクエスト」というゲームに出てくる言葉で、1990年に発売されたドラクエ4で初めて採用されたものです。主人公がともに戦う仲間に対して出す「自分の命を大事にして」というコマンドが、この「いのちだいじに」なのですが、そもそも私たちは「命が大事」だということを小さい頃から聞かされてきましたし、当然なことだと考えていると思います。では、あらためて「命を大事にする」とは、具体的にどういうことなのでしょう。

現在、日本人の平均寿命は約85歳ほどですから、単純に計算して皆さんはあと70年くらいは生きられるということになります。日数にすると約25500日、時間にすると約61万時間です。こうして考えてみると、「私たちの命」とは、実は「毎日の時間そのもの」であり、「時間を無駄遣い」することは、「命を無駄遣い」しているという重要な事実気づかされます。

今年はパリ五輪が開催されますが、ご存知のようにオリンピックは4年に一度しかありません。選手たちは自分の夢である五輪の舞台で躍動するために、全ての時間を、即ち「全ての命」をかけて日々努力を積み重ねてきたはずです。では、皆さんはどうでしょう。実は、皆さんが西条高校で過ごせるのは3年しかありません。この3年という時間を、どうか大事に過ごしてください。特に、3年生は自己の進路実現を目指し、「時間の無駄遣い」即ち、「命の無駄遣い」をしないように、一日一日を充実したものにできるよう心掛けてください。

そして二つ目は、「言葉を大事に」です。先日、家でテレビを見ている時に線状降水帯のニュースが流れたのですが、私は「線状降水帯」という言葉を耳にただけで納得し、そこで思考停止していました。ところが、一緒に見ていた家族が私に「線状降水帯は、なぜ同じ場所に停滞するの？なぜ次々と積乱雲が発生するの？」と矢継ぎ早に質問してきたのです。私はその質問にきちんと答えられませんでした。そして、答えられもしないのに「線状降水帯」という言葉をやり過ごしていた自分に「ハッ」としました。私たちの身の回りでは、毎日新しい言葉が生まれ、世界中にたくさんの言葉があふれている状態です。私は自分のこの体験から、日常生活でよく目にしたり耳にしたりする言葉を、時には立ち止まって調べて理解することが大事だということを学びました。自分で調べたことを他人に説明すると、その知識が定着します。「何となくわかる」が一番よくありません。「全くわからない」なら調べようと思いますが、「何となくわかる」がゆえにそれで満足して、一步踏み出して知ろうとしないことがよくあります。西条高校は、SSH指定校です。学習の際にはもちろんですが、日常生活の中でも「なぜ、どうして」というアンテナを高く張り、「なんとなく分かっている言葉」を、自信をもって使える「自分の言葉」に変えることを意識して毎日を過ごしてみましょう。

それでは、2学期の始業式で、一段と成長した皆さんと元気に会えることを祈念して、終業式の式辞とします。